

図書館だより

NO. 188 2013年12月号
(2013年12月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

● ● ● 年末年始の休館のお知らせ ● ● ●

12月29日(日)～1月4日(土)

の期間を休館いたします。

はつかいち市民図書館 はつかいち市民大野図書館 はつかいち市民さいき図書館

年内は12月28日(土)まで、年明けは1月5日(日)から開館いたします。

この休館に伴い、返却日が1月5日に集中し、業務に支障をきたす恐れがあるため、12月15日(日)より資料の貸出期間を延ばしています。



《中央展示》

『中学生が読んでいる本』

中学生が今、どんな本を読んでいるかご存知ですか？

廿日市中学校と四季が丘中学校から中学生がおすすめの本を紹介するブックカードを借り受けて展示しています。併せて、紹介されている本も集めていますので、ぜひこの機会に手に取ってみてください。

※四季が丘中学校は12月中旬以降の展示予定です。



《さくらびあ展示》

『魅力ある陶芸の世界』

はつかいち美術ギャラリーでは2013年11月30日～2014年2月2日まで、「河井寛次郎の陶芸—科学者の眼と詩人の心—」の展示会が行われます。この展示会にちなんで、陶芸に関する資料を展示しています。

《テーマ展示》

『からだぼかぼか冷え対策』

さむ～い冬を少しでも暖かく過ごせるように、温かい食べ物や飲み物、冷えの対策となる資料を集めて展示しています。



展示期間：11月29日(金)～12月28日(土)

子ども司書たちが作った

おすすめの本

のポップを展示しています

廿日市市教育委員会主催で、市内小学生6年生を対象に「子ども司書」養成講座が毎年行われています。

「子ども司書」とは、読書の楽しさ・大切さを学校や地域で広める、読書活動のリーダーとなる子どもたちです。

「子ども司書」の活動の中で作ったおすすめの本のポップをヤングコーナーで展示しています。



*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

『鳥取・羽合小「アロハ図書館タイム」はじめます。』

北田明美/著 全国学校図書館協議会 017.2/キ

『一神教の起源』 山我哲雄/著 筑摩書房 199/ヤ

『ヴェルヌの「八十日間世界一周」に挑む』 マシュー・グッドマン/著 柏書房 290.9/ク

『遺す人も遺される人も知っておきたい相続の教科書』 三井住友信託銀行/著 東洋経済新報社 324.7/ノ

『病の皇帝「がん」に挑む』上・下 シッタールタ・ムカジー/著 早川書房 494.5/ム

『暮らしを楽しくする道具 BOOK』 学研パブリッシング 589/ク

『からだがよろこぶ! 菌活レシピ』 柚木さとみ/著 幻冬舎ルネッサンス 596/1

『グリーン、多肉植物、エアプランツアレンジ BOOK。』 勝地末子/製作・監修 エクスナレッジ 627.8/カ

『〇に近い△を生きる』 鎌田養/著 ポプラ社 S914.6/カ

『男と女、なぜ別れるのか』 渡辺淳一/著 集英社 914.6/ワ

『はたとゆめ』 沖方丁/著 KADOKAWA F/ウ

『ようこそ授賞式の夕べに』 大崎梢/著 東京創元社 F/オ

『まほろ駅前狂想曲』 三浦しをん/著 文藝春秋 F/ミ

『村上海賊の娘』上・下 和田竜/著 新潮社 F/ワ





新刊

こどものほん



『ただいま！ マラング村 ータンザニアの男の子のお話ー』

ハンナ・ショット/作 佐々木田鶴子/訳 齊藤木綿子/絵
徳間書店 943/㍶

ツソは4歳の男の子。両親がいないため、お兄ちゃんとおばさんの家に居候していますが、ろくに食べものももらえません。二人はそんな生活に耐えかねてある晩、町から逃げ出しますが、ツソは途中でお兄ちゃんとはぐれてしまいます。そして一人残されたツソは路上生活を始めることになり…。

実話に基づいた物語で、あとがきにはツソのインタビューと写真もあります。

『おいでフレック、ぼくのところに』

エヴァ・イボットソン/著 三辺律子/訳 偕成社 933/1
お金持ちの男の子ハルは、何でも持っていますが、犬だけは飼わせてもらえません。ところがある日、パパがペットショップに連れて行ってくれ、運命の犬フレックと出会います。ついに犬を飼えてハルは大喜びしますが、実は数日だけのレンタルだったのです。騙されたことに怒ったハルは、フレックと一緒に逃げようと店に行きます。すると、店の女の子がフレックを逃がしてくれますが、その子は他の4匹の犬も一緒に逃がしてしまいます。そしてハルと女の子と5匹の犬の逃避行が始まりました。

その他の新刊

『子どもに語る日本の神話』三浦佑之/訳 茨木啓子/再話 山崎香文子/挿絵 こぐま社 913/1 (おはなしコーナー)

ミニブックトーク

♪ジングルベル 鈴が鳴る



♪ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る～。12月になると、ふと口ずさむこのメロディー。クリスマスが待ち遠しくて、心がおどりますね。

鈴の音で心がおどるのはクリスマスだけではないですよ！

小さな山の子ウルスリは、家の仕事をよく手伝うしっかり者です。鈴行列のお祭りの前日、ウルスリは大きな鈴をもらって、行列の先頭に立ちたいと張り切ります。ところが、一番小さい鈴しかもらえなかったウルスリは「ちびっこ鈴のウルスリ」と、からかわれてしまいます。悔しいウルスリは、山小屋にある大きくて立派な鈴を取りに出かけますが、山は雪深く、だんだん日が暮れてきました。(①)

サンタクロースがプレゼントを入れるものと言えば、くつしたですね。

アンガスの家は町外れの小さなくつした工場ですが、冬になってもくつしたが売れません。そんなある日、アンガスは寒さに震えるすすめたちのために、新しい模様の小さなくつしたを作りました。とてもきれいで、あたたかそうなくつしたをはいたすすめを見た町の人たちは、そのくつしたが欲しくなります。(②)

いよいよクリスマスイブ。みなさんはどんなプレゼントが欲しいですか？ おもちゃたちもクリスマスプレゼントになるのを楽しみにしているようですよ。

お店では、おもちゃたちがプレゼントに買ってもらえるのを待っています。クリスマス人形のホリーも「わたしをほしいといって、おねがい！」と願いますが、売れぬまま夜になってしまいます。そんな時、ウィンドウの前に小さな女の子がやってきました。家族のいないこの女の子は、自分を受け入れてくれる家を探して、夜の町で寒さに凍えていたのです。一目見た途端に、女の子は「あたしのクリスマス人形！」、ホリーは「わたしのクリスマスの女の子！」と感じ、そろってねがいごとをしました。(③)

①『ウルスリのすす』ゼリーナ・ヘンツ/文 アロワ・カリジェ/絵 大塚勇三/訳 岩波書店 E/カ

②『すすめのくつした』ジョージ・セデツ/ぶん 光吉郁子/やく ピーター・リップマン/え 大日本図書 933/セ

③『クリスマス人形のねがい』ルマー・ゴッペツ/文 バーバラ・クニー/絵 掛川恭子/訳 岩波書店 933/ク



休館中(12月29日～1月4日)は 返却ポストをご利用ください



図書館が閉館している際の資料の返却は、返却ポストへお願いします。

返却ポストは、

①図書館入口左と、

(※12月29日～1月3日の期間は、施設全体が閉館のため利用できません)

②市役所西側駐輪場(海側)付近の図書館通用口横

の2か所にあります。

ただし視聴覚資料(カセット・CD・ビデオ・DVD)は、返却ポストには入れない
てください。開館している時に返却カウンターまでお願いします。

休館中の返却ポストは通常よりも拡張していますが、一度にたくさんの返却があるといっぱいになってしまう可能性があります。

年内が返却期限の資料は、できるだけ12月28日(土)までにご返却ください。

予約が入っていないければ一度だけ延長することができます。

貸出期間の延長は、ご来館いただかなくても、電話でも受け付けています。

12月28日(土)18時まで開館しておりますので、(0829)20-0333までご連絡ください。

その際は利用カードの番号をお伝えください。

休館中にご不便をおかけしますが、よろしく願いいたします。

12月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 ◎	7
8	9	10	11	12	13	14 ★
15	16	17	18	19	20 ◎	21
22	23	24	25	26	27	28 ★
29 休館	30 休館	31 休館	※年明けは1月5日(日) から開館いたします。			



◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※相談窓口で整理券をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

※場所はいずれも図書館会議室です。